

社会福祉施設における 労働災害が多発

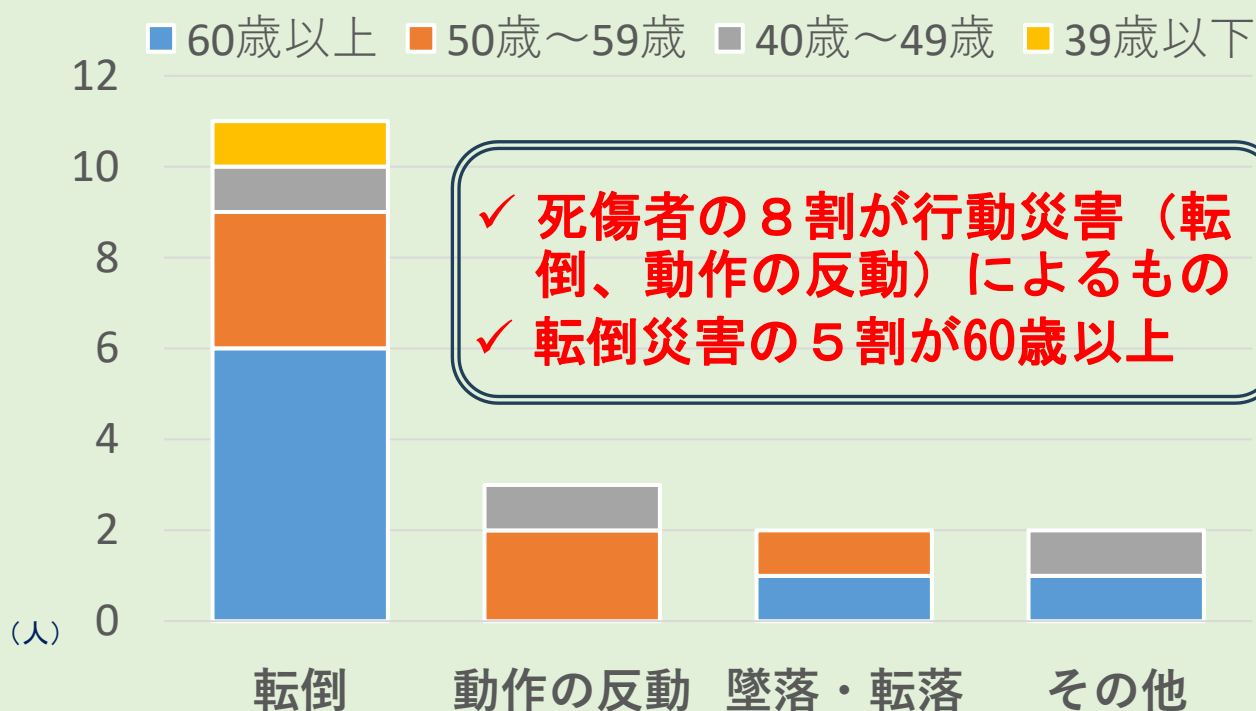
令和7年1月から11月までの、社会福祉施設の労働災害による死傷者数は

前年同期比80%増の18人

と多発しています。

災害の傾向（令和7年11月末現在）

事故の型別・被災者年齢別



災害を防ぐために

□ **転倒災害防止対策**・・・裏面をご覧ください▶

□ **高年齢労働者の労働災害防止対策**


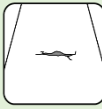



○働く高齢者の特性に配慮した安全な職場を目指しましょう

- ・安全衛生管理体制　・職場環境の改善　・安全衛生教育
- ・高年齢労働者の健康や体力の状況の把握
- ・高年齢労働者の健康や体力の状況に応じた対応

詳しくは「**エイジフレンドリーガイドライン**」をご覧ください。▶

転倒災害防止対策

「つまずき」等による転倒災害の原因と対策





- (なし) 何もないところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒
➢ 転倒や怪我をしにくい身体づくりのための運動プログラム等の導入 (★)
-  作業場・通路に放置された物につまずいて転倒
➢ バックヤード等も含めた整理、整頓（物を置く場所の指定）の徹底
-  通路等の凹凸につまずいて転倒
➢ 敷地内（特に従業員用通路）の凹凸、陥没穴等（ごくわずかなものでも危険）を確認し、解消
-  作業場や通路以外の障害物（車止め等）につまずいて転倒
➢ 適切な通路の設定
➢ 敷地内駐車場の車止めの「見える化」
-  作業場や通路の設備、什器、家具に足を引っかけて転倒
➢ 設備、什器等の角の「見える化」
-  作業場や通路のコードなどにつまずいて転倒
※引き回した労働者が自らつまずくケースも多い
➢ 転倒原因とならないよう、電気コード等の引き回しのルールを設定し、労働者に遵守を徹底させる



▲職場3分
エクササイズ



「滑り」による転倒災害の原因と対策

-  凍結した通路等で滑って転倒
➢ 従業員用通路の除雪・融雪。凍結しやすい箇所には融雪マット等を設置する (★)
-  作業場や通路にこぼれていた水、洗剤、油等により滑って転倒
➢ 水、洗剤、油等がこぼれていることのない状態を維持する。
（清掃中エリアの立入禁止、清掃後乾いた状態を確認してから開放の徹底）
-  水場（食品加工場等）で滑って転倒
➢ 滑りにくい履き物の使用（労働安全衛生規則第558条）
➢ 防滑床材・防滑グレーチング等の導入、摩耗している場合は再施工 (★)
➢ 隣接エリアまで濡れないよう処置
-  雨で濡れた通路等で滑って転倒
➢ 雨天時に滑りやすい敷地内の場所を確認し、防滑処置等の対策を行う



(★) については、中小企業事業者は「エイジフレンドリー補助金」を利用できます。高齢者が安心して安全に働くための職場環境の整備等に要する費用を補助する制度です。ぜひご活用ください。



▲エイジフレンドリー
補助金

【問合せ先】 魚津労働基準監督署 安全衛生課
〒937-0801 富山県魚津市新金屋1-12-31
☎0765-22-0579



▲当署からのお知らせ